

# 平成17年度 学力向上推進事業

大垣市教育委員会

**県の方針と重点**  
一人一人に「生きる力」をはぐくむ指導をする。  
学校の教育目標の具現に徹する学校経営をする。

児童生徒に「確かな学力」を身につけさせるために、  
学力検査(CRT)により、児童生徒の学力や学習状況の実態を把握する。  
児童生徒の学力や学習状況から、一人一人に応じた学習指導の改善等に活用する。  
指導と評価の在り方について研修を行う。  
児童生徒に「英語による実践的なコミュニケーション能力の育成」のために、  
系統的な指導と評価の在り方について研修を行う。

**大垣市の方針と重点**  
一人一人の児童生徒が位置づき、価値づき、方向づく指導をする。  
学校の教育目標が一人一人の児童生徒の姿に具現する学校経営をする。  
< 幼保・小・中一貫性のある教育 >  
< 学社融合による教育 >

## 学力向上拠点形成事業 学力向上推進委員会

**<目的>**  
小中一貫教育を通して、児童生徒一人一人の学力向上を図るための具体的な方策を明らかにすると共に、推進校と連携・協力の下、本市の実情や課題に即した「確かな学力」の育成のため実践研究に取り組む。

### 評価検討委員会

**教育通信検討委員会**

**<目的>**  
現在の指導と評価の在り方を検討する。

**<概要>**  
教育通信の改訂作業  
児童生徒・保護者への評価に関する説明


**<委員>** 10名  
・校長会代表小中各1名・教頭会代表小中各1名・教務主任会代表小中各2名・研究主任会代表小中各1名

**指導に生きる評価の工夫検討委員会**

**<目的>**  
指導と評価の一体化を図った指導の在り方を検討する。

**<概要>**  
評価規準、評価方法の見直しを図った授業案や指導計画を検討し、市内小中学校へ広める。

**<委員>** 研究主任会




### 学力パワーアップ委員会

**<目的>**  
児童生徒の学力や学習状況の実態を把握し、指導に生かすための方策を提言する。

**<概要>**  
市内児童生徒に学力テストの実施  
「指導に生かす評価」の在り方の検討  
市内児童生徒の学力の実態把握、指導に生かすための方策等の報告

**<委員>** 9名  
・大学教授1名・小中学校長会代表1名・小中教頭会代表1名  
・教務主任会代表1名  
・関係教科研部長(小・中国, 小算・中数・中英) 5名




### 小学校英語教育検討委員会

**<目的>**  
英語による実践的なコミュニケーション能力の育成のための指導と評価の在り方について検討する。

**<概要>**  
カリキュラム作成・指導と評価の在り方検討  
学級担任の指導力向上を目指した研修の実施  
教材教具の開発

**<委員>** 13名  
・大学教授1名・小学校長会代表1名  
・教頭会代表1名・市内小中教諭 10名



### 指定校(リーディングスクール)


小中一貫した確かな学力を身につけさせるために  
\* 西部中校区(静里小・宇留生小・綾里小・荒崎小・西部中) 学力向上拠点形成事業推進校: 西部中・宇留生小(推進校)

児童生徒の学力の実態をふまえた授業改善の在り方  
連携協力(小中一貫教育・学習チューター等)の在り方  
主体的に学ぶ意欲を育てる指導の工夫改善の在り方

\* 江並中校区(川並小・江東小・江並中)


研究主題「確かな学力を身につける教科指導」

- ・「確かな学力」を身につける単元指導計画の工夫・改善
- ・「確かな学力」を身につける指導過程の工夫
- ・「確かな学力」を身につける学習集団の育成



### 指定校(リーディングスクール)

英語による実践的なコミュニケーション能力の育成のために  
\* 北小・中川小・静里小・小野小(推進校)  
「水都っ子わくわく英語プラン特区」  
学級担任とALTまたはボランティアティーチャー、中学校兼務教員とのチームティーチングによる実践  
担任の指導力向上を目指した研修の実施  
実践を通じてカリキュラムについての加除修正  
小中一貫の英語教育の実施



大垣市内の小・中学校へ普及・啓発